



シャングリ・ラ サステナビリティの取り組み「シーフードポリシー」 全世界の72のホテル、リゾートでフカヒレ料理の提供を停止

2012年1月



シャングリ・ラ ホテルズ&リゾーツは、サステナビリティの取り組みの一環として、2012年1月17日より、直営レストランでのフカヒレ料理提供を停止し、バンケットでのフカヒレ料理のオーダーを受けることも停止するシーフードポリシーを発表いたしました。2012年1月17日以前にご予約、コンファームされている宴会料理メニューに含まれているフカヒレ料理は、契約内容通りにご提供いたします。また、シャングリ・ラは同時に本マグロとスズキ（チリアンシーバス）料理の提供もすべての直営レストランにて年内に停止する旨発表いたしました。シャングリ・ラでは、2010年12月より当社ホテル内レストランのメニューからフカヒレ料理を除く試みを開始いたしました。このシーフードポリシーは、シャングリ・ラが社会的責任を果たすべく、サステナビリティ達成のために取り組む環境問題の延長上にあります。

当社は2005年に企業の社会的責任（CSR）プログラムの取り組みを決定いたしました。2009年に、サステナビリティ（持続可能性）、エンブレイス（人々への支援プロジェクト）、サンクチュアリー（野生生物保護活動）を軸とする活動を開始し、社会的責任を果たすために強い決意をもってCSRプログラムに取り組んでおります。

「サンクチュアリー」はシャングリ・ラの自然保護プロジェクトです。すべてのリゾートで生物多様性および生息地の保護が一貫して行われるように、包括的な取り組みを行っております。当プロジェクトは、珊瑚礁と海洋生物の保護などを含みます。活動開始2年後の2011年5月には、第1回目のサステナビリティレポートで、地球環境、健康と安全、従業員、サプライチェーン、ステークホルダーとのリレーションの概要、およびサステナビリティプロジェクトの進行状況について発表いたしました。

P R E S S R E L E A S E



シャングリ・ラは、責任ある企業活動を通じて、地域社会の生活の質を向上させるとともに、社会や環境に奉仕するよう努めております。また、シャングリ・ラは社会的責任（CSR）活動の一環として、数年にわたりサステナビリティに取り組む数々のプロジェクトを推進してまいりました。このサステナビリティ・シーフードポリシーは、当プロジェクトの中でも即効力のある最重要事項として位置づけられています。

シャングリ・ラは、地球環境、サステナビリティ問題を含む全プロジェクトを常に再評価しながら、改善してまいります。

日本でのお問い合わせ、ご予約は、
シャングリ・ラ ワールドワイド リザーベーションセンター 0120 944 162 までどうぞ。

シャングリ・ラ ホテルズ&リゾーツ

香港を拠点とするシャングリ・ラ ホテルズ&リゾーツは、「シャングリ・ラ」「ケリー」および「トレーダース」のブランド名で現在72のホテルを世界で運営し、総客室数30,000以上を有する、世界有数のホテルグループです。40年に渡り、当グループは「シャングリ・ラ ホスピタリティは人を思う心から」の精神をもってお客さまをおもてなししてきました。現在当グループは、カナダ、中国、インド、マレーシア、フィリピン、モンゴル、カタール、スリランカ、トルコ、イギリスでプロジェクトが進行中です。

ご予約やご質問等は各旅行代理店、または www.shangri-la.com までお問い合わせください。

このリリースに関するお問い合わせ、資料請求は、
シャングリ・ラ ホテル&リゾーツPR代理店、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。
Tel : 03-3403-5328 / Fax : 03-3403-5329 / e-mail : info@kentosnetwork.co.jp
Web : www.kentosnetwork.co.jp / Blog : www.kentosnetwork.co.jp/blog

twitter.com/LUXE_TRAVEL

